

# 子供達が喜んで住める心豊かな町まちづくりを、 母として、女性としての目を通して 実現できれば。

《活動への評価》

公益財団法人日本生命財団

「生き生きシニア活動顕彰」受賞

福岡県教育委員会

「福岡県教育文化賞」受賞 など



「未来を生きる子どもたちのために私たちができることを。」そんな思いで始まった白壁レディース21。誕生から30年経った今も、うきはの未来のために活動を続ける女性達の姿がある。今回の特集は、白壁レディース21の30周年を記念し、これまでの歩みを振り返る。彼女たちのことを知っている人も知らない人も、うきはの未来について考えるきっかけとなれば——

白壁レディース21代表 高橋和子さんへインタビューを行い、活動に対する想いを語っていただきました。(最前列左から2番目)





平成10年 子育て講座の第1回目がスタート。

平成5年「白壁レディース21」誕生。

# 30年間の歩み

## 白壁レディース21の誕生

平成5年5月、ふるさとキャラバン「男のロマン女のフマン」公演主催目的のため、あらゆる女性団体に呼びかけ、約80人の女性が集まる。公演後、吉井町のイメージである白壁と21世紀の未来を考える女性の集まりにしたいと、「白壁レディース21」が誕生。

公演終了後、このまま解散するのは惜しいと、再スタートの呼びかけに38名が参加。発足後は、町づくりへの参加を目指し、地域づくり団体全国交流会や、吉井町の人材育成事業の研修視察に積極的に参加。翌年の平成6年にはボランティアグループ「野火」と共に「白壁レディース21 満1歳の夕べ」で、ブラックシアターを公演。

## 町づくり参加から子育て問題に

平成10年9月、「満5歳の夕べ」を開催し、「ハラハラどきどき子育て講座」の第1回目がスタート。その後、一年に一度のペースで開催され、第9回まで開催。平成15年7月には設立10周年記念事業も兼ね、講師に評論家の柳田邦男氏を招き、700人もの人が参加し大盛況となった。

## 最近の活動

郷土の歴史の一つ、庄屋と農民で命がけで成しとげた利水事業の物語「五人の庄屋」の大型紙芝居の公

演活動を、学校や地域行事で50回以上披露。平成25年には、市民会議「うきは市子育て教育を進める集い」や、筑後地区社会教育委員会披露。また、紙芝居公演のほかに、八女市の「大内邸・五木文庫」など、先進地への視察研修も行い、現在でも知識を磨き続けている。

令和2年には、地域の活力と健康づくりを目的に、うきはの名所旧跡や街並みをバックに老若男女が参加できる健康ダンスの振り付けを考案し、「うきは City Days」のCDとDVDを作成、多くの人に楽しみながらダンスを広めたいと活動を始めた矢先にコロナのパンデミック。

## この先の未来に向けて

現在、メンバーは19人で、平均年齢は70歳。活動を始めて30年が経ち、母親からおばあちゃんへと変わった。しかし、活動意欲は衰えることなく、11月にはSDGsと命の大切さをテーマにイベント開催を予定。「無理をせず楽しくやろう」をモットーに、うきはCity Daysの健康ダンスを広めたいと挑戦は続いている。

「うきは City Day's」は、白壁レディース21の高橋代表と親交のある京都在住の五山智博氏が作詞。小郡市の故富永浩氏が作曲と歌。2020年、京都芸術センターの開設20周年事業「We Age」の65歳以上のアーティストによる展覧会に五山氏が応募し、見事入選しました。

白壁レディース21 30周年記念事業 「LIFE & SDGs in うきは」

11月26日(日) 13:20~ 白壁ホール

入場無料

紙芝居『五人の庄屋』の披露、『LIFE® いのち』の上映、シンポジウムなどを行います!ぜひご参加ください!

詳細はこちら → [QRコード] [E-mail] hashiko@vesta.ocn.ne.jp

- 1\_干川まつりで紙芝居を披露 2\_浮羽稲荷神社にてMV撮影 3\_白壁の市にて出店 4\_紙芝居に対して多くの方からお礼の言葉が届く

